

送付票(本状含め2枚)
宛先 各医療機関
各地区医師会・歯科医師会・
薬剤師会
各市町村
各市町村教育委員会
送信者:富士・東部保健所 地域保健課

御中

平成28年9月24日
富士・東部保健所

感染症発生動向調査情報(週報)

2016年37週(09月12日～09月18日)

山梨県内流行情報

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、中北保健所峡北支所管内で急激に増加しています。また、ヘルパンギーナについては、中北保健所峡北支所管内で引き続き警報レベルとなっています。富士・東部保健所管内では警報レベルが解除となりました。A群溶血性レンサ球菌及びヘルパンギーナについては、手洗い、うがいの励行に心がけましょう。また、秋から冬に流行するRSウイルス感染症が流行しています。咳やくしゃみによる飛沫感染と呼吸器からの分泌物との接触により感染します。感染リスクが高いのは0～1歳児です。咳エチケットの励行、手洗い、子供たちが触れるおもちゃ等はアルコール等の消毒薬で消毒しましょう。

【今週の警報】:ヘルパンギーナ(中北保健所峡北支所管内) 【今週の注意報】:なし

富士・東部管内流行情報

ヘルパンギーナの警報レベルが解除され、警報・注意報は出ておりません。しかし、感染性胃腸炎の報告数が少しずつ増えてきています。手洗い・うがい・マスク着用を徹底するなど予防に努め、体調管理には留意しましょう。

定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	458	0.09	4558	1.45	1175	0.37	5031	1.6	11641	3.71	837	0.27
山梨県	1	0.02	33	1.38	4	0.17	38	1.58	77	3.21	8	0.33
中北	1	0.07	12	1.5	2	0.25	9	1.13	38	4.75	3	0.38
中北峡北	-	-	15	3	1	0.2	25	5	10	2	2	0.4
峡東	-	-	6	1.5	1	0.25	4	1	5	1.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2.5	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	19	3.8	3	0.6
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2498	0.8	416	0.13	1715	0.55	69	0.02	4482	1.43	3366	1.07
山梨県	7	0.29	2	0.08	13	0.54	-	-	34	1.42	10	0.42
中北	1	0.13	-	-	3	0.38	-	-	5	0.63	4	0.5
中北峡北	4	0.8	-	-	3	0.6	-	-	12	2.4	3	0.6
峡東	1	0.25	-	-	-	-	-	-	5	1.25	2	0.5
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.5	-	-
富士・東部	1	0.2	2	0.4	7	1.4	-	-	9	1.8	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	15	0.02	657	0.96	7	0.01	40	0.08	449	0.95	8	0.02
山梨県	-	-	6	0.67	-	-	1	0.1	7	0.7	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	4	2	-	-	-	-	7	3.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	37週		36週		35週		34週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	0.02	1	0.05	2	0.02	1	-	-
RSウイルス感染症	増加しています	たいへん流行しています	1.38	33	0.42	10	0.04	1	0.08	2
咽頭結膜熱	減少しています	平年並みです	0.17	4	0.33	8	0.46	11	0.21	5
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	増加しています	流行しています	1.58	38	1	24	1.29	31	0.58	14
感染性胃腸炎	横ばいです	たいへん流行しています	3.21	77	2.71	65	3	72	2.5	60
水痘	やや減少しています	平年並みです	0.33	8	0.54	13	0.29	7	0.17	4
手足口病	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.29	7	0.13	3	0.54	13	1.04	25
伝染性紅斑	減少しています	平年並みです	0.08	2	0.21	5	0.17	4	0.25	6
突発性発疹	横ばいです	流行しています	0.54	13	0.46	11	0.5	12	0.54	13
百日咳	-	-	-	-	-	-	0.08	2	0.13	3
ヘルパンギーナ	減少しています	流行しています	1.42	34	1.96	47	3.25	78	3.67	88
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.42	10	0.42	10	0.42	10	0.33	8
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.67	6	0.56	5	0.22	2	0.22	2
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.1	1	-	-	0.1	1	-	-
マイコプラズマ肺炎	やや減少しています	平年並みです	0.7	7	0.8	8	0.6	6	0.5	5
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	女	50